

	<h1>地方版 脊損ちば</h1>	<h2>第116号</h2> <p>2015年3月</p>
	<p>発行 全国脊髄損傷者連合会 千葉県支部 〒292-0802 木更津市真舟 3-26-6 電話 090-3538-5236</p>	

ホームページアドレス = <http://www.normanet.ne.jp/~ww101938/>

メールアドレス = [mackochan@jcom.home.ne.jp](mailto:mackochan@jcom.home.ne.jp)



第37回関東甲信ブロック会議群馬県大会 平成26年10月25日 於:高崎ニューサンピア

<脊損ちばNo.116 目次>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・年頭のご挨拶 千葉県支部長 石井正彦 ..... P2</li> <li>・平成27年度 千葉県支部定期総会のご案内 ..... P3~P6</li> <li>・平成26年度 第5回定例役員会議事録 ..... P7~P9</li> <li>・平成26年度 第6回定例役員会議事録 ..... P9~P10</li> <li>・平成26年度 千葉県支部ピアサポート活動の報告 ..... P11~P14</li> <li>・海外のピアサポート 講師 三橋民穂氏 ..... P14~P17 千葉県千葉リハビリテーションセンター 理学療法士</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人全国脊髄損傷者連合会第14回総会大阪大会 ..... P18</li> <li>・支部からのお知らせ ..... P18</li> <li>・子育て日記 vol14 シンマイ父さんが行く×② ..... P19~P20 千葉市 露崎耕平</li> <li>・MyStyle vol15 千葉市 進藤加代 ..... P21</li> <li>・たかが側溝蓋 されど側溝蓋 御宿町 滝口仲秋 ..... P22~P23</li> <li>・ピアサポート実施について ..... P23</li> </ul>
--	--

# 年頭のご挨拶

千葉県支部長 石井正彦

全春連千葉県支部会員の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平成17年度に当支部長をおおせつかつて今月末でちょうど10年を迎えます。

酒井前支部長から引き受けた際は不安な気持ちでいっぱいでしたが、支部役員及び会員の皆様のご協力により途中で挫折することなく活動することができ、厚く感謝申し上げます。新支部長になれる飯岡秀之さんも10年前の私と同じような気持ちかと思っておりますので、支部活動に支障をきたさないようバックアップしていきたいと考えています。

せつかつたので、過去10年を振り返ってみたいと思いますが、本部では、事故や病気等で脊髄損傷者になられた仲間を支援するピアサポート事業の強化を図るため、ピアマネジャー養成研修を開始したばかりでした。当支部から私はじめ5名が1泊2日の研修を受講し、支部の重点事業に取り入れて、千葉リハビリテーションセンターを拠点に活動してきました。(下段グラフ参照)当センターのご協力もあり、この10年で200回近い活動を行うことができました。当時患者さんだった方が今では当支部役員になられてピアサポート活動をされています。

また、障害者駐車場の啓発活動として、大型店舗における「マナーを守って！」のチラシ配

りも十数回実施し、地元新聞などにも取り上げていただきましたが、残念ながら障害者駐車場のマナー啓発の成果はあまりあがりませんでした。

一番の思い出としては平成20年6月に開催した第7回全春連総会千葉県大会です。前年度から準備を進め、堂本暁子前千葉県知事にもシンポジウムに参加いただき「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」を全国に発信することができました。

また、関東甲信ブロック会主催の会議である千葉県大会を平成25年度に、ピアマネジャー現任研修会を今年度、いずれもホテルポトプラザにて開催することができ、その報告書を本部や参加者に提出してホットとしたところ

です。しばらくは本部及び関東甲信ブロック会のイベントが周ってこないのですが、支部活動に専念できるとおもいます。

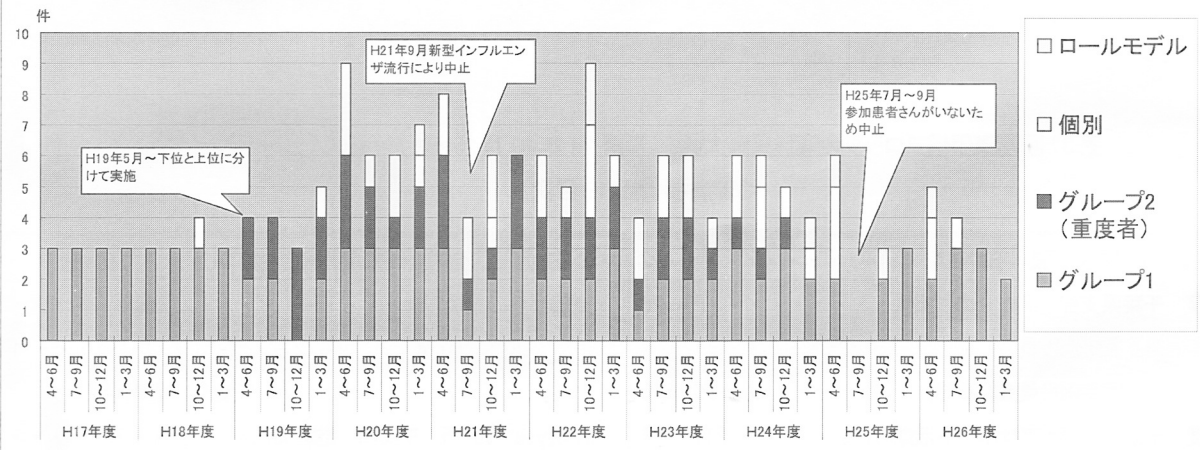
私たちが障がい者が安心して暮らしていくためには、仲間をサポートしながら会員増強を図り、組織を強化して充実した福祉社会を訴えていかなければなりません。

障がいのある人もない人もどなたでも入会できますので、新支部長のもと仲間づくりにご協力をお願いし、皆様への御礼のご挨拶とします。

**連絡先**

新事務局 050-3633417257  
Email: sj.jchiba.hide.ioka@gmail.com

千葉県支部ピアサポート実施件数(平成17年4月～平成27年2月)





28日 千葉リハグループピアサポート

参加者：中澤 畠山、若林、深井

31日 第1回社会参加ガイドブック制作委員会

参加者：石井、忍、伊藤

9月7日 第22回ぶどう狩り&

バーベキュー昼食会

東金市松之郷 忠鈴木ぶどう園

参加者：40名

25日 千葉リハグループピアサポート

参加者：進藤、若林

27日 第2回社会参加ガイドブック制作委員会

参加者：石井、忍

10月5日 第4回役員会

19日 第3回カラオケ交流会

シダックス市原クラブ 参加者：17名

23日 千葉リハグループピアサポート

参加者：若林、石井

25日 第37回関東甲信ブロック会議群馬県大会

ニューサンピア高崎

参加者：石井、飯岡、露 夫妻

11月2日 5回役員会 会報115号発行

3日 第3回社会参加ガイドブック制作委員会

参加者：石井、忍

15日 千葉リハ第12回脊髄損傷者講習会

参加者：千葉、若林、飯岡、忍夫妻、石井

27日 千葉リハグループピアサポート

参加者：畠山、若林

12月7日 関東甲信ブロックピアマネジャー

現任研修会

ホテルポートプラザちば

参加者：32名

7日 支部忘年会

ホテルポートプラザちば

参加者41名

8日 千葉リハ運営懇談会

出席者：飯岡、石井

25日 千葉リハグループピアサポート

参加者：忍、石井

1月12日 千葉リハスタッフとの打ち合わせ

参加者：飯岡、忍、中澤、畠山、石井

12日 第4回社会参加ガイドブック制作委員会

参加者：石井、忍

18日 第6回役員会

27日 千葉リハグループピアサポート

参加者：中澤、畠山

3月1日 第7回役員会 支部会報116号発行

その他の常時活動

1. 日石レオンとの燃料価格の確認(毎月)

2. 支部ホームページの更新

3. 電話によるピアサポート実施

4. アンケート等調査活動への協力

5. 要望活動

①自動車燃料代助成金に関する要望

②紙オムツ等無料支給の要望

**第二号議案**

**平成26年度会計報告**

**平成26年度会計監査報告**

※平成26年度暫定会計報告及び会計監査報告を参照してください。

**第三号議案**

**平成27年度事業計画案**

1. 第4回食事会

2. 第23回バーベキュー昼食会

3. 第3回みんなの音楽会

4. 忘年会

5. ピアサポート活動

6. 身障者駐車場のマナー啓発活動

7. 役員会の開催

8. 支部会報「脊損ちば」の定期発行(4回/年)

9. 千葉県支部ホームページ内容の充実

10. 他県支部及び他団体との交流

11. 要望活動の実施

12. 日石レオンとの燃料価格の契約継続

13. 脊損関連脊及び障害者に関するアンケート調査モニターへの協力

**第四号議案**

**平成27年度予算案**

※第四号議案会計報告書の平成27年度予算案を参照してください。

**第五号議案**

**役員組織見直しについて**

P6を参照してください。

**第六号議案**

**その他の案件**

(1) 第14回総会大阪大会について

(2) 第38回関東甲信ブロック会議埼玉県大会について

(3) ピアマネジャー現任研修会について  
(4) 提案事項、意見・要望等

**平成26年度決算報告(暫定) & 平成27年度予算案**

全国脊髄損傷者連合会千葉県支部

一般会計

平成26年度 決算書(暫定) 及び平成27年度予算案

自 平成26年4月1日至

平成27年1月31日

科 目	予 算	決 算	次期予算案	備 考
<b>収 入 の 部</b>				
前期繰越金	203,763	203,763	154,105	3月末までの経費を含む
会費収入	630,000	706,500	690,000	115名×500×12ヶ月
義援金	0	0	0	赤い羽根共同募金
助成金	300,000	340,000	300,000	本部よりピアサポート分
広告収入	50,000	40,000	40,000	
受取利子	150	132	150	ゆうちょ銀行
寄付金	60,000	96,000	60,000	
繰入金	100,000	0	100,000	
雑収入	0	50,337	0	
収入合計	1,343,913	1,436,732	1,344,255	

**支 出 の 部**

本部会費	378,000	412,160	415,160	27年3月分まで含む
事業活動費	610,000	614,311	630,000	
支部総会役員会	110,000	84,044	100,000	ピアサポート
千葉リハ関係	300,000	340,000	300,000	
ブロック会議	100,000	82,655	80,000	
ブロックアマ現任	0	0	50,000	
イベント補助金	100,000	107,612	100,000	
啓発活動	0	0	0	
事務通信費	60,000	36,156	40,000	
切手: はがき	20,000	10,840	10,000	
会報送料負担金	25,000	12,420	15,000	
事務用品費	15,000	12,896	15,000	
印刷費	240,000	220,000	220,000	
会報印刷	220,000	220,000	220,000	
封筒印刷	20,000	0	0	
慶弔費	15,000	0	15,000	
予備費	40,913	154,105	9,095	
支出合計	1,343,913	1,436,732	1,344,255	

差引合計	0	0	0	
------	---	---	---	--

上記の通り報告いたします。

千葉県支部財務 忍 司

**平成27年度千葉県支部役員組織表**

役職名	H26年度	H27年度案
支部長	石井 正彦	飯岡 秀之
副支部長	飯岡 秀之	露崎 耕平
副支部長	露崎 耕平	若林 武
財務	忍 司 中内 貞夫	忍 司
広報	千葉 均 富田 健一 荒木 太郎	千葉 均 富田 健一 荒木 太郎
相談支援	吉岡 久一 若林 武	吉岡 久一 若林 武 深井 瑞穂
企画	飯岡 秀之 露崎 耕平	飯岡 秀之 露崎 耕平
情報通信	周郷 哲	千葉 均
ケアプラザ四街道	中内 貞夫	-
労災遺族年金	石井 正彦	石井 正彦
女子会	進藤 加代子 中澤 恵子	進藤 加代子 中澤 恵子
会計監査	中澤 恵子 畠山 直久	中澤 恵子 畠山 直久
相談役	千葉 均 滝口 仲秋	千葉 均

# 平成二十六年

# 第五回定例役員会議事録

平成二十六年十一月三日  
中康市三和保健センターササハートホールラヂアルム

## 出席者

飯岡秀之、石井正彦、伊藤 満、忍 司、  
進藤加代子、千葉 均、露崎耕平、中内貞夫  
畠山直久、吉岡久一介護者(菊池)、若林 武

◎会議の前に「脊損ちば第115号」の発送準備をおこなった。会議後にピアサポートの勉強会をおこなった。

## 【一般経過報告】

1. 第3回カラオケ交流会について  
開催日：10月19日(日) 11時30分～14時30分  
会場：シダックス市原クラブ

参加者：17名  
参加した会員からとても楽しかったとお礼の電話があった。

2. 千葉リハピアサポートについて

① 10/23 グループピアサポート テーマ「自動車について」  
参加者：若林、石井

3. 会報115号を発行について

10/17 京葉印刷に原稿提出、初校、納品ともに予定より前倒して作成することができた。

第3・4回支部役員会議事録(石井)、ピアサポート活動報告(会沢)、第22回どうぞ狩り&バーベキュー昼食会の報告(千葉)、再生医療とips細胞

胞の医療情報(千葉)、点字ブロックは誰のもの？(滝口)、子育て日記～シンマイ父さんが行く～

2 vol13 (露崎)、My Style vol14 (進藤)、Go Outside vol13 (荒木、ピアマネジャー現任研修会のご案内(石井)、支部忘年会のご案内(石井)、脊損リハビリ講習会のご案内

4. 関東甲信ブロック会議群馬県大会について  
10/25(土) 13時～  
会場：サンピア高崎

参加者：飯岡(当日のみ)、露崎夫妻、石井  
◎脊損ちば114号を参加者に配布したが大変好評だった。

◎ピアサポート活動の活性化について長時間審議した。

◎当支部からの要望として、本部総会は土日に開催することを提案した。

◎ブロック会規約の改訂をする予定だったが、時間がなく12/7のピアマネ研修会に時間を割いて実施予定。

◎支部の公益法人適合に向けて取り組んでほしい。条件：総事業費の50%以上が公益活動であること。

◎来年度は埼玉県支部が開催予定

◎ピアマネジャー現任研修会進捗状況  
① 10/25 関東甲信各支部に案内状、要項、申込書、ホテルパンフレットを配布した。  
支部長が参加されなかった支部には郵送した。(東京都、神奈川県)

◎ホテルに会議詳細について16項目ほどの確認事項をメールにて10/29に問い合わせた。

6. 支部ホームページの更新  
10月：5回更新

7. その他

◎会費未納者10/31現在10名 未納者については再度振り込み用紙を同封して催促する。

◎10月エネオスASSOCカード契約価格

◎ハイオク1166.0円/リットル

◎レギュラー1155.0円/リットル

◎軽油1134.0円/リットル

◎長野県支部グラウンドゴルフ大会

10/11(土)～12日(日) 佐久市萬里の里

参加者：石井、秋本

◎埼玉県支部長の小辻憲男氏が肺炎のため10/27に亡くなったので、当支部より弔電を打った。

## 【本部報告事項】

1. 第97回通常理事会

◎社会参加ガイドブック製作事業について

第2回会議を終了させた。3回目は11/3の予定

Together6(障害者とスポーツ)・7

(エンパワメント)(いい暮らしをする為に)を発行予定。

◎省庁交渉について

7/22 「地域間格差や制度間の狭間問題」リ

ハビリ期間の延長」について交渉を行った。内容

については脊損ニュースで掲載中。

◎全国から出されている要望項目(139件)の整理について

今年度中に下記の省庁交渉を行う方向を出した。

① 障害者の介護保障の確立

② 重度訪問介護の単価の引き上げ

③ 脊髄損傷者が安心できる医療体制の確保と専門

医の配置及び脊損センター病院の開設

※ガソリン券・タクシー券を国の制度に対しては無理と思うので各市町村で解決してほしい。

◎車いす使用者用駐車場の確保活動について

◎車いす使用者用駐車場の確保活動について

「パーキングパーミット」「青色塗装」等々は、国の法律として制定するよう働きかけることはできないか。公安委員会に要望し、免許の更新時にPRするよう要求を行う。

①ピアサポート活動の拡大について

①近日中に委員会を立ち上げて拡大を図っていきたい。

②ピアサポート活動を行う事により、支部の活性化が進み、会員の増加も見られる。

③活動方法の一つとして、バリアフリーの住宅業者とタイアップして活動を行っている。

④ピラを作成し配布を行い、活動を行っている。

⑤新聞に広告を掲載し、相談会を開催し活動を行っている。

⑥拠点病院を中心として、相談会を開催し活動を行っている。(これから拠点病院を確保及び理解を得ることは大変である)

⑦全国総会開催に関する輪番制について

輪番制は継続し、開催可能な支部による手挙げ方式と、本部開催により解決していく事とした。

⑧ブロック会議開催時における「冠」使用について

ブロック会議開催時に《公益社団法人》の冠使用については、今年度のブロック会議開催時には「冠」を使用しない方向で進めた。

⑨代議員名簿確認の未提出支部が21支部あったので、今後あらためて回答要請を行う事とした。

【今後の支部活動予定及び審議事項】

1. ピアマネジャー現任研修会&支部忘年会について

実施日：12月7日(日)  
会場：ホテルポートプラザちば  
参加費：講演及び会議無料

懇親会Ⅱ6, 000円、二次会Ⅱ2, 000円  
宿泊(朝食付)Ⅱ8, 000円(ツイン・シングル共)

宿泊室の予約についてはシングルⅡ10室、ツインⅡ5室、ユニバーサル室Ⅱ1室

参加申込先：飯岡副支部長  
申込み締切り：11月25日

⑩ピアマネジャー現任研修会について  
会場：2Fパール

役員集合時間：AM 10時 役員の昼食は11時に会議室にて交代でとる。他の参加者の昼食は12時

講演：13時10分〜14時10分「海外のピアサポート」講師：三橋民穂氏(千葉リハビリ理学療法士)

30分の休憩後、各グループに分かれピアサポートの演習に入る。

演習問題作成者：その1 若林  
その2 吉岡

〔役割担当〕

受付：忍、露崎 車誘導係：金谷、畠山 司  
会：飯岡 昼食係：千葉 写真：吉岡、石井

ネームカード作成：石井 講師対応：石井  
⑪ピアマネ研修懇親会&支部忘年会について

■会場：2Fルビー  
■受付：17時00分〜17時50分  
■宴会：18時00分〜20時00分

■二次会：20時30分〜22時30分  
受付：忍、露崎 司会：飯岡、露崎(余興含む)

ビンゴゲーム&カラオケ担当：飯岡、露崎  
若林 賞品準備：石井 乾杯音頭：飯塚

料理メニュー、金額交渉等については石井が担当  
全国総会にて島海さん、大塚さん(千葉リハ)が

受賞されたので表彰式を行う。

ピアマネジャー現任研修会講師の三橋さん、島海さん、大塚さんは無料で懇親会&忘年会に招待する。

身障者トイレ：1F、2F、4Fにあり アルコール・ツマミ自販機7Fにあり 製氷機(無料)7Fにあり

2. 千葉リハ関係

⑫千葉リハ第12回脊髄損傷者リハビリ講習会について(脊損ちば115号21ページ参照)  
11月15日(土)

講演1「これからの自動車を考える」  
講演2「運転中の褥瘡予防」

支部ブースを設け、会報などの資料展示とPR、ピアサポート等を実施する。テーブル2脚、イス3脚

昼食及び休憩室：1F 弁当準備：石井  
参加予定者：若林、千葉、飯岡、石井

集合時間：11時30分  
⑬運営懇談会開催について

12月8日(月) 15時  
参加予定者：飯岡、石井

以下の要望を事前に提出した。

要望①ピアサポートについて、定期的に話し合う機会を設けていただきボランティアとしての役割だけでなく、運営側に入り込んだ活動をさせてほしい。

要望②開始時間を厳守してほしい。

要望③脊損掲示板に資料の保管箱を設置してほしい。

3. ピアサポートについて

⑭支部ピアサポートについて  
ピアサポート案内のチラシを作る。

素案担当：飯岡Ⅱ次回役員会までに作成し来年度



に間に合うよう作成する。両面刷りとし、裏面は「身障者駐車場啓発」のイラストを入れる。

② 千葉リハピアサポートについて

11月の参加予定者：若林、畠山

12月の参加予定者：若林、石井

4. みんなの音楽会について

当初、君津市内の施設で行う予定だったが、入場者が多く入りそうな市原市のアリオ店などで開催できるか交渉してみる。活動資金については「県共同募金」などの助成がおりないか検討中。

5. その他

① 会員からオムツの無料支給に関する要望が出たので、まず石井が要望書を作成し住んでいる市長宛に10/31提出した。このひな型を使って各自住まいの市町村に提出することとする。

② 支部会員の住まい、年代、性別、脊損部位、受傷原因等の分類表を作成したので、グラフ化して「脊損ちば116号」に掲載する。

③ 12/23 千葉県障害者計画フォーラム  
誰かが暮らしやすい千葉県を目指して  
会場：千葉県教育会館

申込（問い合わせ）

電話043-2223-2338

以上

## 平成二十六年度

# 第六回定例役員会議事録

平成二十六年二月十八日  
千葉県三和保健福祉センターサロンドで開催  
市原市三和保健福祉センターサロンドで開催

### 出席者

荒木太郎、飯岡秀之、石井正彦、忍 司、周郷哲、高田儀雄、千葉 均、露崎耕平、富田健一、吉岡久一（弁護士）（菊池）

### 【一般経過報告】

1. 12/7支部忘年会について  
ホテルポートプラザは 2Fルビー  
参加者：41名 ピアマネ研修会懇親会と兼ねて開催したので参加者が昨年度より16名多かった。とりあえず来年度の予約も済ませた。（12/6

（目）宴会室：パール 宿泊室 ツイン3室  
シングル5室 ユニバーサル室

2. 12/7ピアマネジャー現任研修会について  
ホテルポートプラザは 2Fパール  
参加者：32名（ボランティア3名含む）

講演「海外のピアサポート」5ページ分テープおこしをして全14ページの報告書を作成 本部と他支部参加者に送付した。

3. 千葉リハ関係  
① 11/15 千葉リハ第12回脊髄損傷者リハビリ講習会開催

講演1「これからの自動車を考える」  
講演2「運転中の褥瘡予防」  
参加者：千葉、若林、飯岡、忍夫妻、石井

講演内容をテープおこしして支部会報に掲載する。  
② 11/27 グループピアサポート テーマ「外出について」

参加者：若林、畠山  
③ 12/25 グループピアサポート テーマ「家屋改造について」

参加者：忍、石井  
④ 12/8 運営懇談会開催について

参加者：飯岡、石井

要望1 定期的に話し合う機会を設けていただきボランティアとしての役割だけでなく、運営側に入り込んだ活動をさせてほしい。

要望2 開始時間を厳守してほしい。

要望3 脊損掲示板に資料の保管箱を設置してほしい。

⑤ 1/12 ピアサポートについての話し合い実施  
支部からは、今まで参加したピアサポート件数をグラフ表で説明した。

参加者：飯岡、忍、畠山、中澤、石井  
4. 会報115号を発行について

10/17京葉印刷に原稿提出、初校、納品ともに予定より前倒しで作成することができた。

第3・4回支部役員会議事録（石井）、ピアサポート活動報告（会沢）、第22回どう狩り&バーベキュー昼食会の報告（千葉）、再生医療とips細胞の医療情報（千葉）、点字ブロックは誰のもの？（滝口）、子育て日記（シンマイ父さん）が行く×

2 vol 13（露崎）、My Style vol 14（進藤）、Go Outside vol 13（荒木）、ピアマネジャー現任研修会の案内（石井）、支部忘年会の案内（石井）、脊損リハビリ講習会の案内他

5. 支部ホームページの更新 担当：周郷  
11月：4回更新 12月：3回更新

6. その他  
① 会費未納者に電話をして振り込みをお願いした。1/18現在未納者2名

② 9/8自動車燃料代助成金に関する要望を県に提出したが、年末に回答書が届いた。

全国3県において自動車燃料費の助成を行っている

るが、県内では7市が自動車燃料費の助成をおこなっており、48市町村がタクシー利用券の配布を行っている。千葉県の事業としては実施する予定はないとの回答であった。(実施状況については県ホームページに掲載していくとのことでした)

④ ラクスマリナーの秋元氏から荒木太郎さんに講演依頼があり、荒木さんが東京の市ヶ谷でアウトドアスポーツ&車いす者の旅行についての講演を行った。

⑤ エネオスASSOCカード契約価格 (11月)

◎ハイオク 1159.0円/リットル

◎レギュラー 1148.0円/リットル

◎軽油 1130.0円/リットル (12月)

◎ハイオク 1151.0円/リットル

◎レギュラー 1129.0円/リットル

◎軽油 1110.0円/リットル

【本部報告事項】

1. 第3回業務執行理事会報告

① 社会参加ガイドブック製作事業について

1/12第4回会議 参加者：忍、石井

「TOgether 6エンパワメント」「TOgether 7障害者とスポーツ」は3月発行予定。省庁交渉について

7/22 ①障害者福祉サービスの地域間格差の解消 ②リハビリ期間の延長に関する要望

9/29 ①多機能トイレの整備について ②エレベーターの設置について

【今後の支部活動予定及び審議事項】

1. 平成27年度支部定期総会開催について

① 開催日 4月5日(日) 10時~15時

② 会場：市原市保健福祉センター(サンハート) 1F

③ 検討課題

平成27年度事業計画(案)について

平成27年度役員組織(案)について

平成27年度予算(案)について

④ 平成27年度サンハート予約状況 4/5、6/21、8/9、10/11、11/8、1/24、3/6

2. 脊損ちば第116号発行について (3/1発送予定)

① 原稿作成担当

・支部長年頭のご挨拶：石井

・平成27年度定期総会のご案内：千葉

・平成26年度事業報告

「平成27年度事業計画案」：石井

・平成26年度決算報告(暫定) 及び平成27年度予算案：忍

・ピアマネ講演「海外のピアサポート」：石井

・第16回グラウンドゴルフ大会のご案内：千葉

・My Style vol.15：進藤

・子育て日記シンマイ父さんが行く×2 vol.4：露崎

・Go Outside vol.4：荒木

・支部会員の住まい、年代、脊損部位、受傷原因等をグラフで掲載：石井

② 原稿切 2/13 編集終了 2/17 初校 2/20 印刷依頼 2/23 会報納品 2/27

③ 総会出欠のはがきと会費振込み用紙(個別に金

額を記入した通知書も)を同封する。

3. ピアサポートについて 1/22(木)テーマ「福祉サービス」参加予定者：中澤、畠山

4. 第3回みんなの音楽会開催について 市原市の施設を借りて開催したいが、会場の確保とバンド演奏依頼、助成金などを考えると今年の秋ごろに実施したい。経費については県共同募金会に申請する。担当：露崎

5. 第16回グラウンドゴルフ大会開催について 日：5月10日(日)または9日(土) 会場：県長生の森公園 予約担当：石井

6. その他

① 脊髄損傷者に関わるグループインタビューについて首都大学から依頼があった。

次回役員会(3/1)終了後に実施したいので協力できる方は残ってほしい。

② オムツの無料支給に関する要望書について 要望書雛形を作成したので各自住まいの市町村に要望する。(任意)雛形希望者は石井まで

③ 埼玉県支部新年会の案内 1月31日(土) 10時半~ ラフレさいたま 会費4,000円 締め切り1/20

以上 文責：石井

◎次回役員 平成27年3月1日(日) AM 10時~ サンハート 2F ボランティアルーム 9時半~ 会報発送準備

関東甲信ブロック主催のピアマネジャー現任研修会や支部忘年会などその他の活動報告につきましては、千葉県支部ホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

自賠責運用益拠出事業（損害保険協会助成）  
平成26年度千葉県支部

### ピアサポーター活動の報告

- 日時：月10月23日
- テーマ：自動車の移動について
- 参加者：A様、B様、C様、D様、E様、F様、G様
- 連名会：石井様、若林様
- スタッフ：山崎、会澤、上野、三橋、斯波、小菅

最初に自己紹介をしたあと、自動車での移動についてDVDを見ながら、連名会の方や山崎さんからアドバイスを頂きました。退院後すべし直面的なテーマであり、積極的に質問なされる方もいらっしゃいました。

まずは、自分では運転がわからない方についての事例からスタートしました。「家族が車いす↓助手席への移乗介助をされるのですが、病院のPTにしっかりと教わっていないという状況です。ポイントとしては、車いすから車の座面に移る際、なるべく楽に移動できる方向の高さをそろわせておくこと、また、車いすを座面に斜めに入れておいて、少ない回転距離で移動できるように車いすの向きが安定しやすいように深めに座して両ハンドなどが挙げておきました。

加えて、自動車に乗る時は特に除圧が大切であるというお話がありました。具体的には口ホックシモンという器具やジェルが入っているものを使

用したり、15〜20分一回は必ずプッシュアップをするなどできる範囲で意識して取り組むことが重要なポイントです。

ついでに福祉車両についての紹介がありました。現在は大きく3タイプに分けられ、①上述のように助手席が出てくるタイプのもの、②後部座席が出てくるタイプのもの、③後方のトランクから車椅子のまま入るものがあなっています。車いすのまま入るタイプでは、車内部の高さをしっかりと確認しておいた方がよいという意見がありました。今の車はほとんど大丈夫ですが、背の高い方、電動車いすなど大きなものに乗り入れる方などは頭がくっついてしまったり可能性もあるので見ておいた方が良さそうです。連名会の方が「自分のお車を動画で撮影してきて下さり、車いすを収納するための機械が実際に動いている様子を見ることができました。収納BOXが運転席上に移動するので屋根代わりになること、自分の力で持ち上げなくていいので年齢を重ねても使いやすいことなどのメリットが挙げられました。ただし、お値段が8万円ほどかかるみたいです。また、車を購入するときにやや改造するときは事前に役所に申告しておくこと、税金が免除になったり助成金が出たりするなどのポイントも忘れずにチェックしましょう。話がありました。ちなみに、自分でも運転される方の場合は免許センターで適性検査を受ける必要があります。手動装置の練習をさせてくれる所もあるようなので、心配な方は利用なさるのもいいかもかもしれません。

その他、車での移動に限らず外出時に気をつけることとして、トイレ関係のお話が出ていました。どんな人でも失敗の可能性はありますので、着替えがあること安心であること、普段から自分のお手洗

のサイクルを掴んでおく（良いことなど）がアドバイスされました。

最後に、最近の車は「オートクルーズアシスト」という自動運転の機能がついているものもあるというお話がありました。こうしたハイテク機能が普及していくにつれてより安全性が高まり、今は不安な方でも運転に取り組みやすくなるのではないかと思います。

「参加いただいた方、ありがとうございました。」

- 日時：11月27日
- テーマ：外出について
- 参加者：A様、B様、C様、D様、E様、F様、G様、H様
- 連名会：富山様、若林様
- スタッフ：会澤、上野、森戸、三橋、宇津木、斯波、小菅

※その他、室外から様子をつかえたり、お話を聞く方が数名おられました。

最初に自己紹介をしたあと、スタッフが用意したスライドをみて外出の際のポイントを共有しました。連名会の方からは、日常場面での工夫から気持ちの持ち方まで幅広くアドバイスを頂きました。

まずは、外出するための手段として、公共交通機関の案内がありました。バスに乗る際は、バス停で乗る意思表示をし、運転手さんがスロープを用意し乗せてくれるそうです。電車は、駅員さんに「〇〇まで乗る」と行き先を告げ、誘導してもらいます。スロープを用意して乗せてくれたり、車

います。スペースが確保されている車両に案内して  
くれるというのが、駅員さんの指示に従って安全  
に行動することが重要だ。また快速なで、一部  
車両にはトイレも付属しており、狭いけれども車  
いすでギリギリ入れるところもあるようです。  
地下鉄やモノレールも、基本的には同じです。最  
近はかなりの整備が進んできたようで、常駐の係り  
がいるホームもあれば、自動でスロープが出へ  
る仕組みになっているものもあるようです。  
これらの交通機関は身体障害者手帳を提示するこ  
とで料金の減免が受けられますが、JRは単独で  
す1000円移動しないと半額にならないよう  
です。介助者が同行すれば、距離に関係なく半額  
となる。飛行機は最初に乗り込み、降りるとき  
は最後になります。航空チケットを買う際に車椅  
子であることを伝えると、出口準備しておいてく  
ださるようです。機内では飛行機用の小さな車い  
すに乗り換えて移動し、座席へと移乗します。自  
分の車いすは荷物としてあずけてしまっているだ  
けです。

気になる外出時のトイレですが、出かける前に  
排泄して管理を徹底すると安心して外に出られ  
るようになります。昨今は障害者トイレが設置さ  
れていくのが多いので、ハード面が外出時の大  
きな妨げはなくなっています。着替えも持  
参すれば安心感にも繋がるので、トイレ、少  
外に出る経験をして、閉じこもらないようにな  
る方がいいと思います。初めは行きやすいのは、  
大型のショッピングセンターなどで、いきなり遠  
くへ行くのはなほ、近場がオススメだと思います。  
(都内では意外とお店の入口に段差があることが多  
く、入れない店もあるようです。下調べと、入れな  
かったときは切ないが切替える心が必要です)

ことでした。入院中に自分の排泄リズムや、どう  
いう時にどうなるのか(気温や体調)で左右さ  
れるのかをしっかりと覚えておくのが大切であること  
また、麻痺していても痛みやしびれは出ることで自  
分の体のサインに敏感になることが必要だと  
アドバイス頂きました。誰もが必ず失禁は経  
験することなので、シミュレーションだけでも失敗し  
ないように工夫しようと思えば、一歩前に進  
めるはず、という心強い言葉も頂きました。  
くわえて、褥瘡対策も必須であり、ロホクシヨ  
ンやジェルクッションを駆使すると同時に、プッ  
シユアップを意識して行うことが大切だそう  
です。

体調管理(褥瘡対策、排泄コントロール)ことも  
に重要なのが、車いすの管理です。タイヤの空気  
圧が減っていないか、音や振動でいつもと違うと  
思ったらすぐにメンテナンスをする。気がか  
けてちよくちよく観察し、大事にすることが重要  
です。ブレーキのかけ具合が、力を入れずにふに  
やうにかかるといったときは、空気が抜けて  
いるサインなんです。道員ではなく、自分の体  
の一部なので、しっかりと向きあって大切にしてい  
きましょう、というアドバイスが印象的でした。  
ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。

- 日時：12月25日
- テーマ：テーマ：家屋改修について
- 参加者：A様、B様(奥様)、C様、D様、E様、  
F様
- 運営会：石井様、忍様
- スタッフ：山崎会沢、上野、三橋、斯波

小菅

最初に自己紹介をしたあと、スタッフ山崎さん  
が「自身の家屋改修について紹介しました(写真  
あり)。玄関、トイレ、浴室について、運営会の方  
から改修の際に気をつけたほうが良いことなど体  
験談を踏まえたアドバイスがありました。

玄関については、スロープの角度は今の自分で楽  
に登れる角度にしてもいいこと(5度くらい)がベ  
ストとのこと、ノンフリートに滑り止めの加工  
をするのが良かったことなどが挙げられました。  
また、車庫などから玄関までは屋根があると濡  
れずに入れるので良いとのことでした。スロー  
プは「後ろにひっくり返りやすい苦手」という方で  
昇降機をお使いの方もいらっしゃいましたが、停  
電などもあるので予備のスロープも作ってあるそ  
うです(実際に使用したのは、大震災の時のみ  
のこと)。ただし、昇降機は取り付けるのに結構な  
金額がかかることでした。外へ屋内へ、車椅子  
を2台お持ちの方もいますが、助成金が出るの  
は当座の1台目だけだそうです(5、6年経過す  
ると劣化も考慮され新しい車いすを買えること  
ですが、それまでの間にも1台欲しい場合は実費  
になる)。

トイレは、入院中に使いなれた場所(〇階のこ  
のトイレ)について、便座の高さや手すりの位置な  
どを手チェックして測っておき、業者さんに伝える  
と良いそうです。自宅では入口の扉をよけるカー  
テンにする、移乗のための広さを十分確保でき  
るよう工夫する(タンクレストイレにする)など  
の経験談が聞かれました。また、脊損の方はタイ  
ル内に長く長いものが多くあるので、現場は暖房  
設備を置いたり、夏はファンを回すなどの工夫が  
必要になることでした。自己導尿の方などは、  
ご自分の状態に合わせてトイレ内に必要なもの

(手袋やカッター綿なども準備しておく)慌てず  
に済むという意見も頂きました。

お風呂は段差が大きいことが多く、市販のステップ  
で高さを替える等工夫をしていたが、掃除が大変  
だったこと、結局は洗い場/脱衣所/浴槽間の段  
差を出来るだけ少なくするよう考えて改修した  
こと等が話されました。以前の回では、シャワー  
チェアのまま入れているという方がいらつしやい  
ましたが、今回はシャワーチェアでは不安定で介  
助が必要だという意見もあり、「自分の状態に合  
わせて色々試していろいろが重要なようです。  
(介助が必要な場合は、浴室内に介助者が動ける  
スペースも必要)。また、脱衣所は冬場寒いことが  
多いので、ここにも暖房設備があると落ち着いて  
着替えられるという意見もありました。

最後に連合会の方から、家屋改修はイメージだ  
けで進めるより、(外出許可をもらう)脊損の先  
輩の家を見せてもらうと参考になるかもしれ  
ないというお話がありました。また、「退院後に  
家に帰って孤独感を感じる」という辛い時期がくる  
そんなときは当事者同士の癒しというのが一番  
効果があるので、是非連合会へ声をかけてほし  
い。「温かいお言葉をいただき、暮を閉じまし  
た。」と参加頂いた方々、ありがとうございました。



- 日時：1月22日
- テーマ：テーマ：福祉サービスについて
- 参加者：A様 B様C様・D様
- 途中出入り有：A様・B様C様・D様E様

- 連合会：畠山様、中澤様、若林様(入院中)
- スタッフ：云澤、PT高橋、斯波、小菅

最初に自己紹介をしたあと、スタッフ云澤さん  
から福祉サービスの紹介をしてもらいました。連  
合会の方からは、実際の「経験をお話して頂きま  
した。

まずは、福祉制度の大枠についてのお話です。  
原因が事故の場合、①通勤中/勤務中については  
労災の対象となり、②交通事故の場合は損害補償  
③その他の事故の場合は介護保険や障害福祉サ  
ービスの対象となるそうです。また原因が「病気  
の場合は、年齢によって使える制度が変わってき  
ます。65歳以上は介護保険、40〜65歳までで特  
定疾患の場合は介護保険、特定疾患外の場合は障  
害福祉サービスとなります。40歳以下は障害福  
祉サービスの適用になるとのことです。(福祉  
制度には優先順位があり、労災→介護→障害福祉  
サービスの順で使っていくことになるそうです)。

続いて、介護保険と障害福祉サービス(障害手  
帳)それぞれのサービスについて紹介がありまし  
た。介護保険のサービス利用に至るまでには、①  
役所の窓口で申請②要介護認定(訪問、主治医の意  
見書)③結果通知④ケアマネにサービス計画書作  
成を依頼⑤契約、サービス利用開始、という流れ  
があり、介護認定を受けて結果が出るまでに30  
日ほどかかるとのことでした。具体的なサービ  
スとしては、①レンタル(車いす、ベッド、歩行器な

ど)、②購入補助(水回りのもの、1割負担で上限  
10万円)、③住宅改修助成(手すり、段差解消など  
1割負担で上限20万円)、④その他のサービス利  
用ヘルパー、訪問看護、デイサービス等があるよ  
うです。

障害福祉サービス(手帳)については、患者さん  
の状態によって申請の時期が異なります。不全麻  
痺の方は受傷発症から6ヶ月経過したあと、完全  
麻痺の方は、6ヶ月以内でも申請できるようです。  
ただしあくまで原則であり、個人差があるので、  
担当のソーシャルワーカーに確認してほしいとい  
うことです。

連合会の方からは、入院中やついでにおいた方が  
いい手続きや、退院後の心構えなどについてお話  
いただきました。お一人とも手帳の申請は入院中  
に済ませており、車いすの採寸も済ませたりして  
いました。他にも、住宅の改修、車を運転される場  
合の改造、お仕事をやめた場合(中には失業保険の手  
続きなど)、たくさんの方のやるべきことがあつて大変  
だったそうです。何をどの時期に手続きしたら  
いいのかわからないことが多いので、担当のワーカー  
とよく相談するようアドバイス頂きました。  
お住まいの市町村で使えるものも調べてみるの  
良いようです。

退院後はいろいろ経ってから、他にも使えるサー  
ビスがある(訪問マッサージ等)を知ったというお  
話もありました。

また、退院後に乗る車いすは、試乗をして自分  
の体にあつたものを購入するようオススメされ  
ました。自分の体の状態も年月とともに変わって  
きたり、フェイススタイルも変化する可能性がある  
ため、最初は固定車よりもある程度調整がきい

折りたたみ式の車いすの方がいいかもしれない  
という意見も頂きました。

入院中の方からは、車いすの修理に関することや退院後の排油管理に関すること、身体の「コントロール」(痙攣)による口常動作がしづらくなることについて質問があり、遅くまで連立会の方々に「相談」の機会を頂きました。退院して外出することへの期待と不安がある中、入院中の方から先輩方の経験談と現在のお姿がとても参考になるのだらうと思われました。「参加頂いた皆様、ありがとうございました。」

千葉県千葉リハビリテーションセンター  
地域連携部 相談室 ソーシャルワーカー  
会沢希美  
〒266-0005  
千葉県千葉市緑区菅田町1-45-2  
TEL: 043-291-1831 (内130)  
FAX: 043-291-1847  
E-mail: hozomi aizawa@chiba-reha.jp  
URL: http://www.chiba-reha.jp/

## 海外のピアサポート

講師：三橋民穂氏  
(千葉県千葉リハビリテーションセンター  
理学療法士)

皆さんこんにちは、私は、千葉県千葉リハビリテーションセンターというところで理学療法士をしている三橋民穂と申します。脊髄損傷のリハビリテーションの現状について、スウェーデンとイギリス、オーストラリアの三ヶ国を昨年研修させていただき、研修テーマの一つとしてピアサポートについて取り上げましたので報告させていただきます。

研修は2ヶ月間で、4名の研修生が全国から集ま

### 税制度の違い

日本	消費税8% 所得税5-40% 医療費個人負担:原則3割負担
スウェーデン	消費税25% 所得税約50% 医療費個人負担:原則無料
イギリス	消費税20% 所得税20-45% 医療費個人負担:原則無料
オーストラリア	消費税10% 所得税0-46.5% 医療費個人負担:原則無料

図1 各国の消費税と所得税

り成田空港からデンマークに行きました。着いたらすぐに研修という形で、1週間デンマークの医療と教育現場を回らせていただきました。その後は4人ばらばらになって、自分がテーマとして掲げた国に行きました。私はスウェーデンとイギリス、(最後に丸1日かけて)オーストラリアに行きました。

ストックホルムで2週間、その後にイギリスのロ

ンドンから約1時間、日本で言う特急のような電車で北上して、オックスフォード近くのパラリンピック発祥の地で有名なストックマンデビルというところに3週間いまして、最後にオーストラリアで3週間というスケジュールでした。私の研修というのは脊髄損傷をより深く学びたいリハビリテーション、社会福祉制度、そしてピアサポートという3本柱で研修を進めました。

今年の1月に脊損連合会で発表させていただいたとき、社会制度の違いによる質問が多かったので、まず税金について国によってどのくらい違うのかということからお話しさせていただきます。所得税と消費税、そして医療費が各国どのような割合になっているか説明します。(図1参照)

日本は消費税が8%で、所得税が5%~40%ですが、医療費の窓口負担はおおむね3割です。それに比べるとスウェーデンは消費税25%、所得税が50%です。イギリスは消費税20%、所得税は20%~45%。オーストラリアは消費税10%、所得税は0%~46.5%です。公的病院での医療費は3ヶ国とも原則無料です。皆さんが乗っている車いすも無料貸与なので実質お金がかからないということです。福祉先進国といわれる北欧、イギリス、オーストラリアは医療や福祉が充実しているのがわかりますが、税制度や国民の考えや教育内容が違っているのではないかと思われました。これらを踏まえてピアサポートについてお話ししたいと思います。

ロールモデルとピアサポートの違いについて説明しますと、ロールモデルという考え方はスウェーデンの考え方です。(図2参照)ピアサポートというのがイギリス、オーストラリア、そして日本の考え方です。ロールモデルというのはどうい

ことかと言いますと、脊損当事者の生活をモデルとして、新しく入ってきた患者さんに提示をして、当事者は障害の重症度に関わらずに個人が選択した生き方をしています。それが数多くの先輩方のモデルから、自分がなりたいたいモデルを選択できます。サポートについては、相談に応じるというよりは自己決定権を尊重するという北欧独特の考え方のかなと感じました。

ピアサポートというのは、当事者同志の支え合いということと、先輩の脊損者が個別の相談に応じて支援するという事です。同じサポートではありませんが、その辺が大きな違いだと思います。医療スタッフとピアサポーターの関係については、日本の場合には患者さんと医療スタッフがついて、それとは別組織にピアサポートがあるという形です。海外の場合は、医療スタッフの中にピアサポーターという方が位置づけされているので、ピアサポーターはカンファレンスにも参加します

ロールモデルとピアサポートの違い	
ロールモデル (主に北欧)	ピアサポート(UK, Aus, 日本)
<ul style="list-style-type: none"> <li>当事者の生活をモデルとして示す</li> <li>当事者は障がいの重症度に関わらず、個人が選択した生き方をしている</li> <li>それら数多くのモデル(先輩方)の中から、自分がなりたいたいモデルを選択する</li> <li>相談にも応じるが、寄り添うというよりは自己決定権を尊重する考え方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当事者同志の支えあい</li> <li>当事者の先輩が個人の相談にのる</li> <li>個別の相談に応じて、支援する</li> <li>寄り添う考え方</li> </ul>

図2 ロールモデルとピアサポート

し、必要があれば病室に行つて個人的にサポートをするということもできます。その裏には、医療スタッフがピアサポーターの方に患者さんの個別のいろいろな背景をお話して、今関わったほうが良いのか、まだ関わらないほうが良いのかというようなことを考えながらサポートしていけるというのも海外の特徴なのではないかと思ひます。

(図3参照)

もう一つ大きなことは、日本のピアサポーターの場合は皆さん自身他の仕事を持っていて、ご自分の仕事をやりながら余暇時間を使って、わざわざうちのセンターにお来しいただいてボランティアのような状況でお話をさせていただいています。海外の場合、ピアサポーターは医療スタッフということで、病院の勤務のなかでサポートするという、そこが大きな違いだと思います。

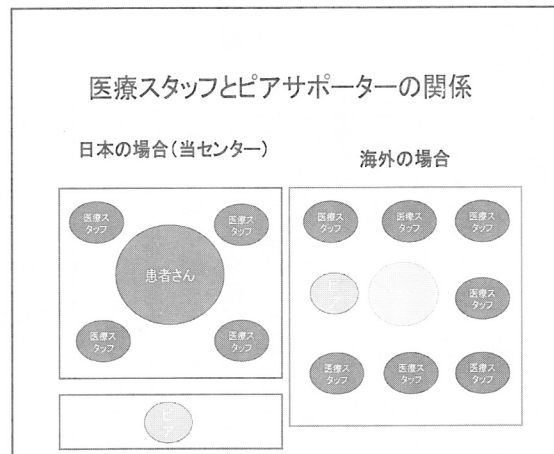


図3 医療スタッフとピアサポートの関係

次に個別に行つた病院の説明をします。まずストックホルムにあるリハビリテーションセンターという病院で、脊髄損傷の方など15床のベッドしかないのですが、スタッフは81名いるのには驚きました。神経疾患の患者さんも入院していましたが、ほとんど脊損の外来患者さんが来ていました。この人数でリハビリのインストラクター、いわゆるピアサポーターの方が14名いらっしゃって、脊髄損傷者にいろいろな相談にのつていくという、すごく手厚い病院でした。車いすインストラクターと言われていましたが、この方たちの背景を説明しますと、常動しておりますが、ピアサポーターになるための専門の学校があるそうです。運動学、生理学、解剖学、心理学、栄養学等を学んで、車いすインストラクターになるそうです。スタッフは脊髄損傷者のいろいろなバリエーションの方で、脳性まひの方もいました。何をサポートするのかわからないと車いすのスキルはもろいですが、ADLとか、移動、移乗、車の運転等多岐にわたってアプローチしてました。私もカンファレンスに参加したのですが、もちろんピアサポーターの方も入っていて、医療スタッフと同じように意見を述べて、PTが車いすインストラクターに相談して解決していくという姿がありました。先輩の姿を入院中から見ることができ、将来の自分の姿を想像したり、より具体的に問題解決が可能であるということ、とても有意義なことだと思ひました。

病院の中の車いすを管理している部屋(写真1)ですが、スロープや階段が見えますが、実際に車いすで階段を上ったり降りたり練習をしています。車いすを作るときにPTとインストラクター



写真2 車いすインストラクター



写真1 車いす練習場

の方が(写真2)いっしょにセッティングします。リハビリ室の天井を見ますとレールがありますが、ちよつとでもスタッフが介助することは禁止されているので、患者さんをベッドから車いすなどに移乗させるときは必ずリフトを使います。日本とは大違いですね。外にタクシーが見えると思いますが、タクシー(写真3)も無料です。



写真3 無料のタクシー

次はイギリスのストークマンデビル(写真4)という病院の説明ですが、国立の脊損センターです。急性期から外来までサポートしていて、世界初の脊損センターで有名な病院です。ここのグッドマン博士という方が、当時は褥瘡などで亡くなる方がたくさんいらつしゃって、もつと血液の循環を良くして体力をつけるにはやはり車いすスポーツだということ、パラリンピックを提唱されたそうです。ここは脊損の方だけでベッド数が110床あります。スタッフもたくさんいらつしゃいます。2名のピアサポーターが常勤していて、患者への教育と相談にに応じていました。主事医とは別

### ピアサポーターの役割

- 独立した組織として活動(sia)
- 2名の職員(脊髄損傷者、患者教育プログラムの主催、病棟やリハビリスタッフから依頼を受け患者相談)
- Patient Education(外部講師を招く。平日午後、約1時間、トピックに沿って講義、リハビリテーションとタイアップ)
- 講義内容: 痺れ、痙性、褥瘡、排泄、疼痛、食事、セクシャリティー、外出、就職、弁護、趣味etc..)
- 車椅子スキルトレーニング(外部講師)

図4 ピアサポーターの役割

ですから外来通院も無料のタクシーを利用できます。患者さんには必ずパーソナルアシスタントという方が付くのですが、その介助料も無料です。



写真4 アリスバリー駅

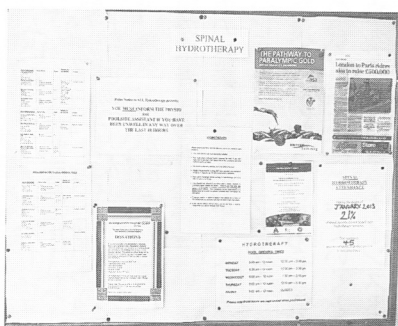


写真5 ストークマンデビル病院

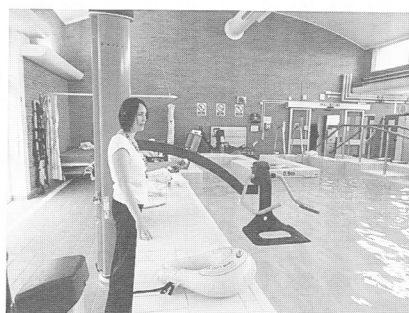


写真6 病院内のプール設備

に9名の精神科医も勤務して、家族とか友人へのカウンセリングもしています。脊損の方が受傷されてからのサポートをばつちりやっています。よしよとということ、チームで一人の脊髄損傷者を診ていきましょうと、熱心にケアされている病院でした。



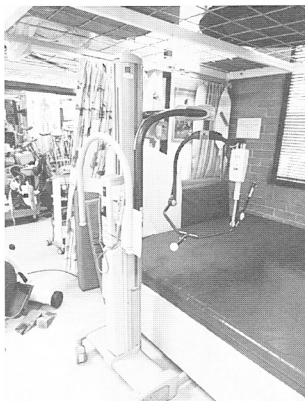


写真9 リハビリ室



写真7 PAホスピタル

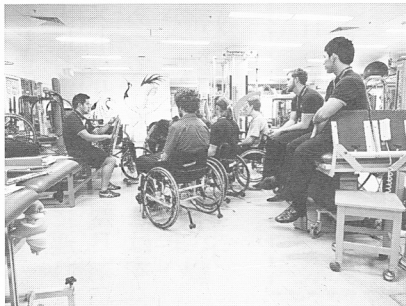


写真8 車いすの実習

ピアサポーターの役割は、S I Aというところに所属している方が2名常勤していて、月曜日はしびれについてとか、火曜日はケイセイについて、水曜日は褥瘡、木曜日は排泄についてやりますと、日毎にトピックスを組んだスケジュール表(写真5)が張り出されています。(図4参照)それを患者さんが見て、リハビリがかぶらないようになっていて好きな日に、好きな項目を選べるというシステムになっています。難しいことに関しては外部から脊損者の講師を招いているということです。普段の悩みや相談ことなどはピアサポーターが対応します。また、脊損の方にはプールが良いというところで、どこの病院も脊損者全員、例えば傷があればそこを覆ってハイドロセラピーが良いということ、首の動かない方でもやっています。

最後に、オーストラリアのブリスベンにあるPAホスピタルという病院(写真7)のお話です。今司会をされている飯岡さんが受傷したときに入院された病院で、飯岡さんから紹介していただきました。ケアンズとか、ゴールドコーストとか有名なので聞いたことがあると思いますが、そこに近い病院です。公立病院内にある脊髄損傷病棟で、ベッド数が40床、スタッフが102名いらっしゃいます。とても手厚くサポートをされていました。独立したS C I Aという組織があり、職員として脊損のピアサポーター(写真8)が3名いらっしゃいます。病院の1スタッフとして配属されてサポートしています。この病院の特徴は一生にわたってバックアップしますよという体制をとられています。患者さんが登録されていて、今日はAさんはどうなっているかなとか、Bさんはど

**SPOT**

- Spinal Out Team(SPOT)
- Queensland州(一部パプアニューギニア)
- 全域の患者を一生サポート
- PT OT Ns
- 各種相談: Mail、電話、テレビ電話、直接現場に向向
- 医療行為に近い、褥瘡、痙性、関節、痛み等の身体的問題。車椅子やクッションの検討、関連機器の検討

図5 SPOT企画

うなっているかなというふうに電話をしたり、国土がものすごく広いので飛行機で患者さんの様子を診に行くそうです。脊損についてわからない現地の看護師さんがいいたら、Skypeを通じてこういうクッションにしなさいと絵を見せたり、車いすのセッティングがわからないと、こういうセッティングにしなさいとテレビ電話を使いながらやるそうです。それでも難しい場合は、飛行機で出向いて専用のジープに乗り継いで現地の病院まで指導に行くそうです。それがSPOTという部署で、ここはパプアニューギニアまでカバーしているそうです。(図5参照)

スタッフはPT、OTといます。いろいろな患者さんの医療相談にも応じているとのこと。ここはピアサポーターとは外れますが、国土が広いのでピアサポーターだけでは対応が難しいということ、スタッフの1部がSPOTに在籍してピアサポートをしているそうで、地理的なこともあり他の国とは少し違うのかなと思いました。SPOTは家庭医や地域の病院とか訪問スタッフにも専門的な指導をして脊髄損傷について理解してもらうためにいろいろ働いているところでした。オーストラリアは2本立てになっています、一つは国でやるピアサポートがS C I Aです。もう一つはS I Aといって州でやるピアサポートと二つの組織があってサポートをしています。

(中略)

リハビリについてはどの国もほとんど同じですが、日本と違うのは患者さんを少し持ち上げるだけの介助でも禁止されています。もし私がリフトなどを使わないで介助し腰を痛めても労働災害にならないということです。ですから全部リフト

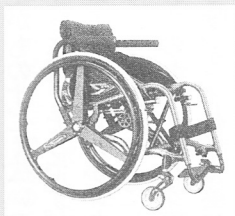
## 公益社団法人全国脊髄損傷者連合会 第14回総会大阪大会開催のお知らせ

- 開催日 平成27年6月6日(土)
- 会場 国際障害者交流センター(ビッグアイ)  
〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台1-8-1  
TEL 072-290-0900  
FAX 072-290-0920
- <http://travel.rakuten.co.jp/HOTEL/79265/rmap.html>
- お問い合わせ  
公益社団法人全国脊髄損傷者連合会本部事務所  
TEL 03-5605-0871

(写真9)を使ってやるのが原則でした。リハビリについては日本のPTの方が繊細に患者さんを扱っていると感じる場面もありました。個別リハビリというのがほとんどできないので、5人のPTが本当にやらなければならぬ患者さんのリハビリをします。PTはじめ、どの職種にも必ずアシスタントがいます。忙しいときはアシスタントの方が患者さんのリハビリをします。余談ですが、スタッフの方に日本料理の店に連れて行っていたら、オーストラリアの方は親家でやさしくてユーモアがあって、最後の研修はオーストラリアで本当によかったです。時間もまいりましたので、この辺で終わらせていただきます。

### 支部からのお知らせ

- 新入会の紹介  
会員No.290 小林宇助様(千葉市)
- 2月エネオス価格(税込み)  
ハイオク:142.0円/ℓ レギュラー:131.0円/ℓ 軽油:111.0円/ℓ
- 寄付をいただいた方  
吉岡久一様 玉木一成様 鳥海三千代様 忍 司様 千葉均様
- はがき・切手寄贈者  
秋本順一様



国産車から外車まで  
オールメーカー対応

〒289-1512

山武市松尾町八田2399-7

TEL(0479)82-2236  
FAX(0479)82-2246

# あなたのお役に立ちます

《介護用品全般・車いす》

お気軽にご相談ください  
〈販売と修理〉

## (株)山石商会

本社

山武郡横芝光町長倉1308

TEL(0479)82-2228  
FAX(0479)82-8299

# 子育て日記

Vol. 14

## シンママさんが行く②

千葉市 豊崎 耕平

私達夫婦は結婚10周年を迎えました。あつと言つ間の10年だった様に感じる。付き合つた時間も含めると12年位になるかな…色んな事が沢山あった。



10年前

10年経つた今は夫婦から家族になつてくる。一人可愛い子供も授かった。結婚をして今も元気に笑いながら過ごせるのは

真純ちゃんのお陰、そして元気の源じいちゃんのお陰なのだ。



女子チーム

長女のしほは2月で4才になる、つい最近生まれたばかりなのに本当にあつと言つ間に大きくなつていへもうちよつとゆつくり大きくなつても良いのかなあ(笑)しほが生まれた日もとても寒かつた、確か朝から雪がちらついていたよな…病棟中に聞こえる大きな声で泣いていた、俺も嬉しく泣いてたよ。今もはもつとハイハイになるよ、すすまふ言ひてるよ。最近はずかまり立ちして何かしゃべってる、そしてご飯を良く食べるよ。表情もドンドン出て来て、自己主張も出てきた

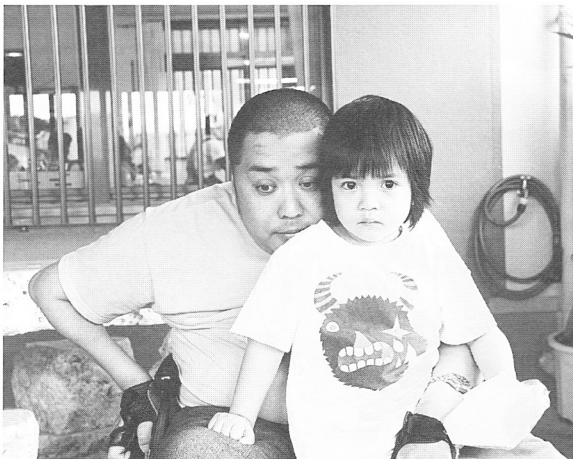
人間になつてきたんだなと思つよ。

本当に生半端の神秘を感じる、しかも立ち上がるのに車いすがちょっと良しうしろ音も無くハイハイしてきて気がつくときタイヤの横とか車いすの下とかにいるからかなりビックリするよね。結婚する事は難しい事も沢山あるよね、障害がある人と付き合つてると言つただけで偏見の目で見られる人も少なくはない。

ましてや子供が欲しいなんて、俺の事で手がかかるのに子供なんて諦めた方が良くよとかよく言われた。

真純ちゃんは一度も弱音は吐かず

「私達夫婦でチャレンジする事は決めた、両親が元気でまだ若いうちに赤ちゃんを抱かせてあげたいし、耕平君は長男なんだから私達の都合で露崎家を絶やす訳には行かない」と真純ちゃんは言つてた。

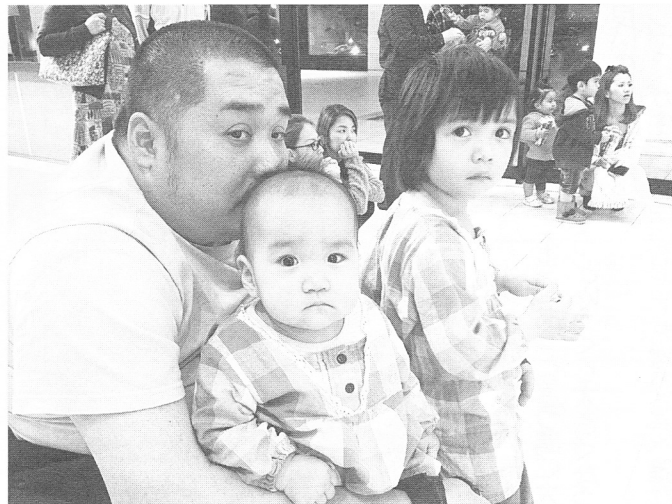


しづくと二人

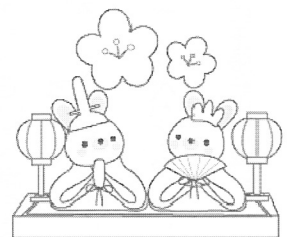
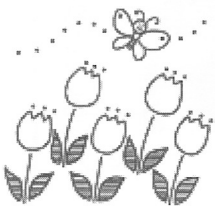


姉妹

ただ自分自身の中で不妊治療を始める時に考えた事がある。  
 他のお父さんの様に肩車をしたり海やプール、一緒に自転車に乗ったり出来ない、どうしたら良いんだらう？  
 子供が将来不満を感じたりはしないだろうか、とても不安な時期がありました。でもある時思っただんだよね、そんな事出来なくてもどうでも良いや、自分自身だけが出来ない子供に対する愛情で接しようじゃないか。  
 別に他のお父さんと同じ事が出来なくてもいいや、俺は俺のやり方で行こうと決めました。  
 きこもねはごひやんるみにも伝わるはずと信じています。



三人で・・・



15年先も20年先も100年先も・・・

〽〽〽

結婚をする事や家族が出来るとは確かに楽しい事や楽しい事はかりではないと、大変な事も思う、だけど私達夫婦は良く話しているのだが、障害があるから・車いすだからこんな自分を誰も好きにならないなんて思ったりしないで恋愛や結婚諦めないでほしいと思つ時がある。  
 俺は真純ちゃんを結婚して、ごひやんるみが生まれて来てくれてありがうと思つて、正直どんな父親になりたいかなんて解らない、だけど子供達を精一杯愛して行こうと思つ。



露崎家

# MY STYLE

Vol.15

千葉市 進藤 加代

皆様、こんにちは。いびき打っている今日も2月10日です。

千葉や東京では1年でいちばん、雪の降る確率が高いのが2月ですよ。

わたしはなるべく2月は大きな予定入れないようになっています。例えば高いお芝居のチケットなどを購入して、雪で玄関から一歩も出られなくなってしまうら泣くしかないですからね。玄関から屋根ついで車に乗り込める方は出られるかもしれませんが、我が家は雪かきしないとムリなので、家族とはいえ重労働を頼むのは・・・なかなか言うに言えません。

それとただでさえ滑る雪道に片手運転で怖いんですよ・・・しかもこの辺りではスノータイヤ履いてない方(多分持っている)ばかりですから。その事故は避けたいです。

とはいえ実は、今週末は又々のワインパーティに参加予定、友人とお泊まりで参加費は支払い済み・・・にかゝるにかゝ、雪降りませんように毎日天気予報とららめようとしています。笑

わい、話は変わります。

皆さんの車いすを利用するようになってから、お着物(和服)をお召しになりわたくしは

すか?

わたしは先日、「車いす用のお着物」を初体験してまいりました☆

千葉支部会員である深井さんから縁をいただきまして、昨年、名古屋で和装ブランドのお仕事をされている中島明子さんという方と出会いました。彼女は車いす用のお着物を開発中で、いすはレンタルが出来るようにと様々なことを考えていらっしゃいます。

先月1月、わたしは知り合いの会社設立パーティに参加するため名古屋に行きました。そのパーティに何着ようと考えた時に「名古屋ならばここで着物をアッパア」。

ホテルのお部屋へアメイク&着付けをしていただきました。柄留袖の上下セパレートで帯やら何やらシンプルになっており、「楽」とは言いませんが、とあえず一人でトイレ行くことも脱ぐことも出来たほぐスムーズな作りでした。慣れない格好に姿勢で、後からすこい筋肉痛になりましたけど。笑



進藤さん

それでも新鮮な初体験はとっても楽しく嬉しかったです。深井さんにはこの場をお借りしてお礼申し上げます。深井さん、素敵な縁をいただきありがとうございます。😊

着付けに要する時間は思いの外短いです。今回20分ほど。着付け時と脱ぐ時の動画を思い切ってYouTubeにアップしてありますので、興味ある方はぜひご覧ください。

PCやスマホからYahooやGoogleで「進藤加代 Yononobae」を検索してください。

一発で「スムーズコンシェルジュ進藤加代 Yononobae」が見つかるはず。その中に書きます。

お着物を着てみたかった車いすユーザーさんの朗報となりますように♡ ではまた😊

ブログURL  
<http://ameblo.jp/smooth-concierge/>  
スムーズコンシェルジュ進藤加代

# たかが側溝蓋 されど側溝蓋

御宿町 滝口 仲秋

大韓航空及び韓国観光公社から依頼された「バリアフリーモニター旅行」に参加し、韓国最大の仁川国際空港に降りた。ソウル市内のホテル、交通機関のバリア事情の調査が主目的であった。時には、車いす操行を拒む物にも目が向いた。

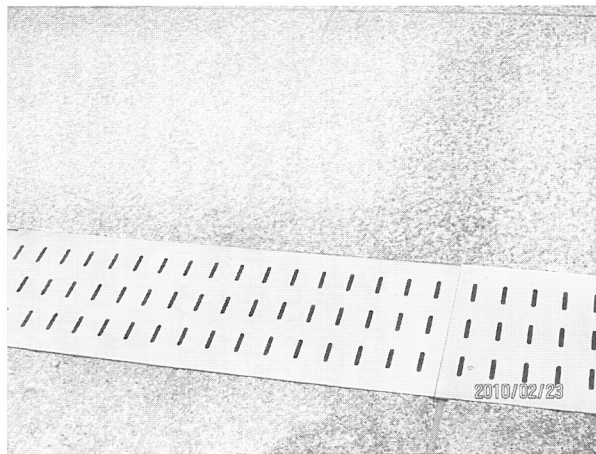
昌福宮①には、見上げるような光化門と勤政殿の間には広大な中庭があった。

中庭には粗削りの薄石（平たく切り出した石）が敷いてあり、その中には御道が通り、その御道の左右には文武の身分によって九組の品階石が置いてある。因幡の白ウサギのように薄石をピョンピョン跳び越えて前進した。

《勤政殿は文武百官からの朝賀を含んだ国家の大きな儀式を挙行することや外国からの使臣を接待するなど、景福宮の正殿でありながら同時に法殿であった》とパンフレットに書いてある。この薄石に座り込み、国家の大きな儀式が営まわれていたんだ。鉄板の排水溝の蓋は、コンクリートの舗装に調和して漚ぎやすかった。

光化門からメトロ3号線沿いに三換ビルまで30分漚いだ。その間1キロぐらいたったろうか。道の反対側に昌徳宮②の敦化門が見えた。朝鮮王国最古の門だという。その先に古めかしい仁政殿という宮殿があった。隣には、李朝時代の王国

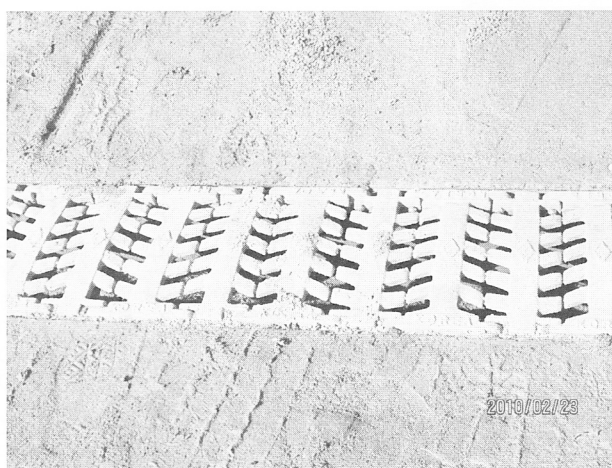
の庭園である後苑があった。いずれも砂地？粘土地？であろうか、車いすを操行するには難儀なところだった。  
土砂に埋もれた排水溝だけが、車いす操行を容易にしてくれた。それに、大雨でも降ったら、1日にして昌徳宮の排水溝は、土砂に埋もれてしまっただろうなあ。



昌福宮の蓋①

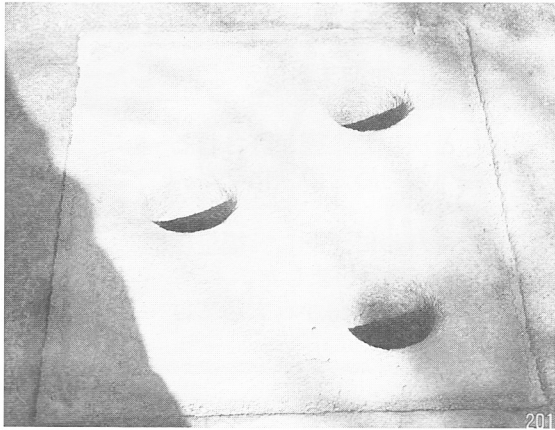
昌徳宮のわきには昌慶宮③があった。豊臣秀吉の朝鮮出兵時、焼かれ、再興されたという昌徳宮・明政殿から昌慶宮の入り口・崇文堂にいたる通路の排水溝では、見事、前輪がはまり前転してしまった。近くにあった王宮職員の手を借りてしまった。それからは排水溝を避け、溝上を斜め操行を試みた。

昌慶宮の南の宗廟に行つた。宗廟④は、朝鮮・韓国の歴代帝王・后妃・功臣等を祭る祭祀場と聞いている。木々が鬱蒼と茂り、個々の建造物が古式ゆかしく見えた。排水溝の蓋には天然石を使つてある。夕日に映えた表情からは、王朝の祖先が、踏みつけて行く車いすに何かメッセージを送っているように思えてならなかった。

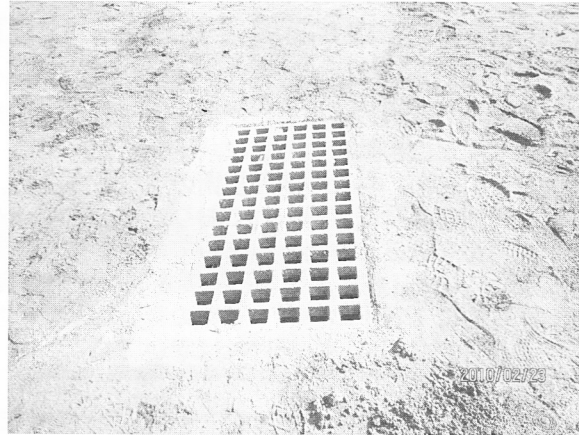


昌徳宮の蓋②

大韓民国の大統領府は、紺碧の空に映える北岳山のふもとにあつた。青い瓦で葺かれているから青瓦台名づけたそうだ。英語ではブルーハウスと呼ぶ。ホワイトハウスに影響されたのかなあ。  
以前訪れた時には、パスボードを提示し、高官の執務室、中池などを見学し、その荘厳さに驚いたものだ。今回は、大統領府が一望できる噴水台



宗廟の蓋④

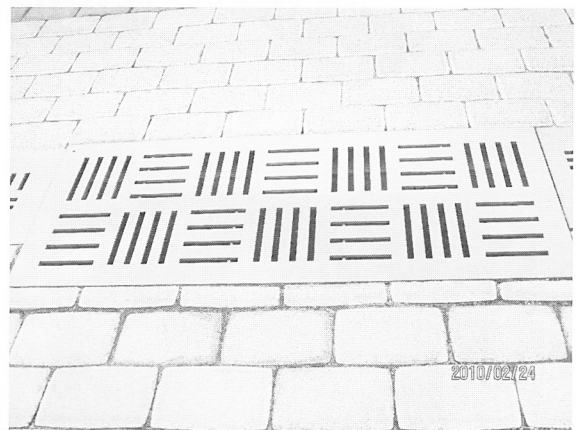


昌慶宮の蓋③

広場にある「サランチエ」を一回りし、韓国、ソウル、青瓦台⑤への疑問を解消することに努めた。広場には、どの方向から漕ぎ始めても、安心して渡れる溝蓋があった。



昌福宮や青瓦台で出会った蓋は、排水溝である意識をなくしてくれました。側溝蓋だけでも新旧いろいろ有り、国柄を感じる蓋の調査だった。ぼくは、半年1回の割合で前輪が蓋にはまり、蓋に前方宙返りを強要される。たかが側溝蓋、されど側溝蓋の心境だ。



青瓦台の蓋⑤

## 注目

### ピアサポート実施について

当支部では、脊髄損傷者当事者が自らの経験を基に脊髄損傷者（頸髄損傷者も含まれます）の悩みや心配ごとなどの相談に無料で応じますのでお気軽にご相談ください。

- ◇ 個人情報は一切外部に漏らしません。
- ◇ 難しい問題については専門相談員や、弁護士をご紹介します。
- ◇ ご家族やご友人、会員外の方も歓迎します。

#### ■平成27年度実施日

平成27年4/5、6/21、8/9、10/11、11/8、平成28年1/24、3/6

相談時間帯 14時～16時

#### ■場 所

市原市保健福祉センター（サンハート） ボランティアルーム  
千葉県市原市海士有木 225-4 （案内図は3ページをご参照ください）

■相談ご希望の方は実施日前日までに下記までご連絡ください。 ■電話相談受付ます。

担当者：飯岡 電話 050-3634-7257

Eメールド以 [si\\_jchiba.hide.iioka@gmail.com](mailto:si_jchiba.hide.iioka@gmail.com)



## 株式会社ミクニとの企業提携（子会社化：2014年4月1日）に関するお知らせ

弊社は、皆様のおかげをもちまして昨年、APドライブ誕生40周年を迎える事ができました。これまで永年のご協力に感謝し、この場をお借りして御礼申し上げます。

現下の事業環境は自動車の急速なハイテク化、グローバル化など決して楽観が許される状況ではありません。弊社も開発技術の更なる高度化、海外市場への対応力の強化など、急速な対応を図る必要性に迫られております。

これらの情勢を鑑み、弊社としましては自動車部品業界でグローバルに活躍し、福祉機器事業も展開している(株)ミクニと提携する事が最も良い選択肢だと判断しました。

今後、弊社内にて若干の体制・組織の変更などが行われますが、皆様におかれましては従来通り安心してお取引いただければ幸いです。



×



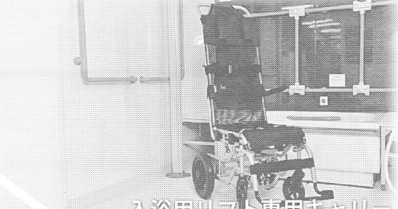
手動運転装置



介護リフト(浴室・寝室)



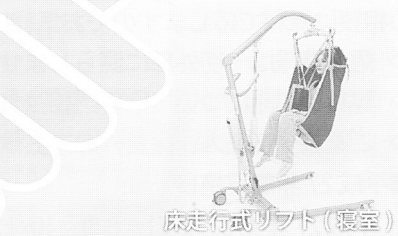
車イス収容装置



入浴用リフト専用キャリー



全自動リフト



床走行式リフト(寝室)



株式会社 ニッシン自動車工業

全国ネットワークでトータルにサポートいたします。

本社工場 〒349-1145 埼玉県加須市間口456-1 Tel.0480-72-7221 Fax.0480-72-7223

NISSIN JIDOSHUA GROUP

ニッシン自動車 検索

発行人 東京都世田谷区砧6-26-21

編集人 千葉県木更津市夏舟3-26-6

全国脊髄損傷者連合会千葉県支部

頒価二〇〇円

特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会